

季節のお菓子作りと短冊へ願いを込めて

高槻ともしび苑では、季節のお菓子作りと、願いを込めた短冊を笹にくくりつけ七夕の飾り付けを楽しめました(*^_^*)
夏の風情を感じながらも、ひととき蒸し暑さを忘れ、ゆったりとした時間を過ごされていきました☆

「水無月」作り



白玉粉やお砂糖を混ぜ合わせていろいろ部分を作ります！



できあがったように、あずきをそっと乗せて丁寧に仕上げていきます(^-^)



出来上がりです！
お店の水無月も美味しいですが、手作りはまた格別です！お皿も涼しげ(^-^)

京都のお菓子である水無月は、1年の残り半分の無病息災を祈念して6月最後の日である6月30日に食べる風習があります。見た目も涼し気な水無月は、暑気払いにもなりますね(#^^#)

七夕飾り



ご自身で願い事を書かれる方、職員と一緒に願いを込める方、それぞれの短冊が出来上がりました！
皆さんの願いが届きますように(^-^)*



たくさんの願いと共に、飾り付け完成です(^-^)*

職員インタビューコーナー

介護士になろうと思ったきっかけ

私の出身であるベトナムは、3世帯4世帯家族が多く、私も4世帯家族で育ちました。幼い頃から両親は農作業に忙しく、祖母、曾祖母にお世話をしてもらって来ました。そんな環境からお年寄りが好きになり、自分が大きくなったら今度は私がお世話をさせてもらおうと思うようになったことがきっかけです。しかしベトナムには介護の仕事はあまりなく、看護師の仕事と似ている部分もあったので高校卒業後は医療系の大学に入り、ベトナムの看護師免許を取りました。卒業時に、先輩から日本とベトナムの「経済連携協定」があることを聞き、日本には介護の仕事がたくさんあること、自分の夢を叶えて日本で働くことに希望を抱き、1年間日本語と介護の勉強に励み、協定の基準に合格する事ができました。

実際に介護の仕事に就いて

最初、岡山県で就職し、働きながら介護福祉士の資格を取りました。リフトがない施設で、移乗など全て自分の力でやっていた体力的にしんどかったですし、認知症の方とわかってはいても不穏になられた時に発せられる強い言葉は辛かったです…。そんな時は段々と話をずらしたり、好きなことを提案することで気持ちが紛れて落ち着かれることも学んでいき、周囲の職員に「一緒をお願いします」とヘルプを出す事でサポートしてもらいました。今も1人で抱え込まないようにしています。辛いことだけではなく、ご利用者さんが私の名前を「ホアちゃん」と呼んでくださると、とても嬉しいです！しっかり名前を覚えていただいていることは、大きな励みです(^-^)

大切にしていること

職場では一定のルールの中で仕事をすることは大切です。一方で、ご利用者さんのニーズは個々に違っていることもあり、ルールを重んじながらも、柔軟に対応させていただくことを大切にしています。

取り入れたいこと

人員不足で余力がないことと、コロナの状況で行事やレクリエーションなど、しっかりできていない部分があって、気になっています。ご利用者さんの楽しみが少なくなってしまうことは心苦しいので、職員が増えて余裕が生まれたら、しっかり準備をして楽しい時間がたくさん提供できるようになると思うので、早くそうなれば嬉しいです。



福島ともしび苑 介護士 チャンティホアさん

休日の過ごし方

休日は友人のところへ子どもと出かけて楽しんだり、公園で遊んで過ごします。2歳でイヤイヤ期に突入した我が子と家に居るよりは、外に出た方がお互いの為に良いですね(笑)

未来の自分

日本へ来る為にひらがな、カタカナ、漢字全てをゼロから学ぶことは大変でしたが、努力して夢が叶いました。介護の仕事はこの先もずっと続けたいですし、日本に住み続けたいと思っています。7年前に日本へ来て、介護士として経験も積んできていますが、まだまだ自分の力だけでは対応しきれないところもあります。5年後、10年後の自分は、これまで対応が難しかったところを習得し、できる範囲が広がっている姿をイメージしながら励んでいきたいと思っています。